



**静岡県議会2月定例会で一般質問に登壇しました。**  
三島駅を拠点とした観光戦略、道路整備、不登校対策、教育改革、行政のAI活用などについて県の考えを質し、具体的な前進につながる答弁を引き出しました。主な内容を紹介합니다。

## 三島駅インバウンド戦略

年間167万人の外国人利用がある三島駅。しかし、その多くは通過にとどまっています。

**三島や伊豆半島へ滞在をを広げ、地域経済につなげる戦略が必要です。**

私は、三島駅を伊豆観光の玄関口として明確に位置づけるよう求めました。

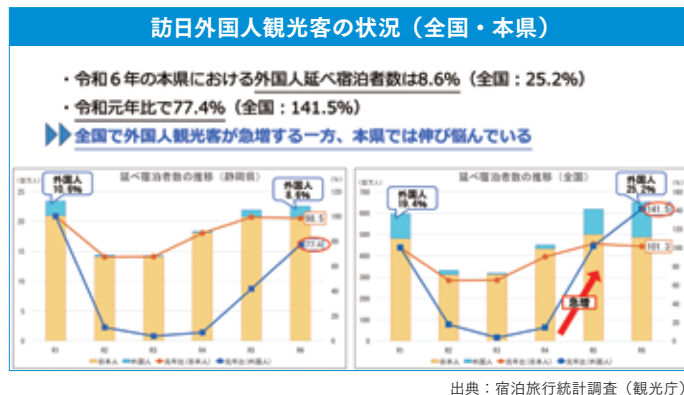
### その結果—

県は  
**三島駅を伊豆半島観光の重要拠点と明言。**

- 来年度、
- 訪日客データ分析強化
  - 伊豆半島周遊ルート造成
  - 二次交通対策推進
  - 受入環境整備

を実施。さらに東京都と連携し、首都圏での共同プロモーションや情報発信を展開。

**三島駅は「通過点」から「玄関口」へ。** その方向性を明確にさせました。



## 西間門新谷線

慢性的渋滞が続く三島南部。

**生活道路と観光動線の両立が課題**です。

国道136号との交差点整備について、進捗状況と完成見通しを明確にするよう求めました。

### その結果—

用地取得や設計を着実に進めていることが示され、重要路線として優先度を意識し整備を進める方針が明確になりました。道路が開通すれば、企業を呼び込み、雇用と地域の活力を生み出すことができます。



## 不登校の支援

県内の公立小中学校の不登校児童生徒は**11,904人**。過去最多となりました。学校だけで抱え込まず、地域や専門家と連携した支援の必要性を質問しました。



### その結果—

来年度、県はモデル市町で**福祉と教育が連携する支援体制を開始**。社会福祉士などの専門人材が入り、不登校の子どもと保護者を伴走型で支援していきます。今後、県内全体への展開を目指します。

## 人間力を育てる教育

AI時代に本当に求められるのは、点数だけでは測れない「人間力」です。私は議会で、**非認知能力を教育の中心に位置づける**よう求めました。

### その結果—

静岡県版SEL(社会情動的学習)を導入。

小中9年間を通じて

- 粘り強さ
  - 協働する力
  - 感情をコントロールする力
- などを体系的に育成する方針が示されました。

**AI時代を生き抜く「人間力」を育てる教育へ**進みます。

## 環境と調和のとれた農業

環境と生産性を両立する持続可能な農業が重要です。



### 市民の声が政治を動かす

日々の活動の中で、多くの皆さんから様々な声をいただきます。「三島駅をもっと活かさないのか」「子どもたちの教育環境を良くしてほしい」「道路渋滞を何とかしてほしい」そうした声を県政へ届け、議会で質問し、具体的な答弁を引き出しました。皆さんの声を力に、地域の課題を必ず前に進めます。



## 地域の伝統文化の継承

祭りや伝統文化を大切に守り、地域の絆と誇りを未来へとつないでいくことが重要です。

## 上下水道・工業用水道

老朽化する水インフラの持続可能な管理が求められます。

## いたみ雅治の

ラジオ番組

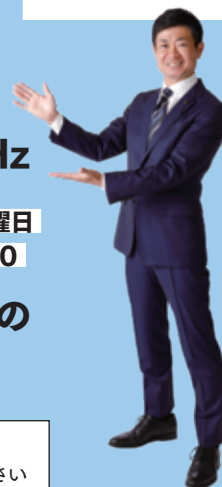
ボイス・キュー  
**FM77.7MHz**

毎月第2・第4火曜日  
**12:45~13:00**

「県とあなたの懸け橋」

ご意見などお気軽にお寄せください

YouTube  
公式チャンネルでも県政の情報を発信しています!



静岡県議会議員  
いたみ まさはる  
**伊丹雅治**

法政大学大学院(政策学)修了  
三島市議会議員(一期)  
静岡県議会議員(二期目)

昭和51年6月4日生まれ  
家族構成：妻・長女・長男

## AI時代の行政へ

人口減少が進む中、限られた人員で行政サービスを維持するためにはAIの活用が不可欠です。そこで私は、県行政におけるさらなるAI活用について質問しました。

### その結果—

**生成AIを全庁で導入し**、文章作成や要約などの業務で活用。**年間約3万時間(職員16人分)に相当する業務時間削減**が見込まれています。

さらに知事自らがAI統括責任者(CAIO)となり、AI戦略を推進する体制が整えられました。

## いたみ雅治事務所

〒411-0035 三島市大宮町3-14-15  
Tel & Fax 055-975-7896 <https://m-itami.com/>

